平成28年度　甲府市立千代田小学校

≪保護者配付資料≫
千代田小の教育指導重点と県教育指導重点について、保護者用資料を作成しましたで配付いたします。

## 1　学校教育目標

**「心豊かでたくましく，自ら学び，自ら考え，実践する子どもの育成」**

## 2　めざす子ども像

○　思いやりのある子ども　（優しい心）
○　よく考え，進んで学習する子ども　（学ぶ意欲）
○　健康で明るくしっかり働く子ども　（健康な体・勤労）

（めざす子ども像を、各学年の年齢に合わせた教育目標として定め、学校教育目標と共に教室前面に掲示し、具現化に取り組んでいる）

| | | 思いやりのある子ども | よく考え進んで学習する子ども | 健康で明るくしっかり働く子ども |
|---|---|---|---|---|
| 学年教育目標 | どんぐり | 思いやりをもって<br>仲良くする子ども | よく考え、分かるまで<br>ねばり強く学習する子ども | 健康で明るく<br>根気よく働く子ども |
| | 1年 | ともだちとなかよくし<br>たすけあう子ども | よくきき、かんがえ<br>はっぴょうする子ども | げんきであかるく<br>よくはたらく子ども |
| | 2年 | 友だちとなかよくし<br>たすけ合う子ども | よくかんがえ<br>すすんで学しゅうする子ども | げんきで明るく<br>こんきよくはたらく子ども |
| | 3年 | 友だちと協力し<br>助け合う子ども | よく考え<br>わかるまで学習する子ども | 元気で明るく<br>根気よく働く子ども |
| | 4年 | 友だちへの思いやりの<br>ある子ども | よく考え、わかるまで<br>ねばり強く学習する子ども | 健康で明るく<br>根気よく働く子ども |
| | 5年 | 思いやりの心をもって<br>行動できる子ども | 自分の考えをもち、わかるまで<br>ねばり強く学習する子ども | 健康に留意し<br>責任をもって働く子ども |
| | 6年 | 思いやりの心を<br>行動で示せる子ども | 自分の考えをもち、わかるまで<br>ねばり強く学習する子ども | 健康に留意し、最後まで<br>責任をもって働く子ども |

## 3　本年度の指導重点及び特色ある教育活動

### （1）「生きる力」を育み、基礎基本の確実な定着を図る教育課程の編成

・個に応じたきめ細やかな教育活動を推進する。
・各教科指導に当たっては、児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ自主的に学ぶ態度を育み学習意欲の向上を図る。
・児童個々の課題や到達度を明確に提示し、意欲的に自ら学び、自ら考える態度と学習習慣の確立を図る。
・総合的な学習の時間の充実に努め、特色ある教育活動に取り組む。
・体験的、課題解決的学習を積極的に取り入れ、学校開放やCAN（地域人材活用）の推進等、地域の教育力を取り込みながら、豊かな学びを展開する。
・教育活動全体を通して、キャリア教育の推進に努める。

### （2）言語活動の充実

・言語環境の整備を図る。
・「伝え合う力」の基礎的な力を国語科の学習の重点として定着させるとともに、全教科の学習を通して育成を図る。
・児童会活動、学級活動、集会活動等の機会をとらえて、言語活動への意欲化を図る。
・「一分間スピーチ」の継続、充実を基幹として、自己表現力の育成に努める。
・読書活動のより一層の推進と啓発を図る。

### （3）豊かな心の涵養

・「思いやりのある子」の育成と生徒指導の充実に努める。
・いじめ防止基本方針を策定し、いじめが起こらないような積極的な生徒指導の充実を図る。
・全校音楽活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、豊かな情操を養う。
・千代田荘との交流や千代田探検、地域美化活動、地域環境を守る活動を通して、奉仕の心や地域を愛する心を培う。
・外国語活動を通して、世界に目を向けようとする態度を育てる。
・進んで挨拶する態度を育てる。

### （4）自然体験学習の充実

・花壇づくりの伝統を生かし、美しい生活環境の中で生き、自然と調和する喜びを体得させる。
・学校農園作業、梅林管理を通して、育てる楽しみ、働く喜び、収穫の感動を味わわせる。

### （5）健康づくりの推進

・一輪車や縄跳びの技能の習熟、持久走や全校遊び等を通して、体力つくりに努める。
・スポーツテストの結果を参考にして、体力の向上を図る。
・食育指導を充実させ、明るく楽しい雰囲気の中で給食をいただく。

## 4　県の指定校

**平成28年度　地域で取り組む学校元気アップ事業指定校**

平成 28 年度

小学校

# 山梨県の小学校では

**『夢と希望に向かって自ら学び，考え，行動する「たくましい力」を育てる』**
**『他者を思いやり，社会の絆を深める「しなやかな心」を育む』**
**を目標に，県下全ての学校で校長のリーダーシップとマネジメントの下，全ての教員が参加して授業研究が日常的，継続的に行われている山梨県を実現します。**

## 1

**知・徳・体の調和を重視し，「生きる力」を育む適切な教育課程の編成と実施に努める。**

○指導内容や指導方法に関わる小中連携の推進

## 2

**生涯にわたり学習する基盤が培われるよう，確かな学力を育む指導と評価に努める。**

○校長のリーダーシップとマネジメントによる組織的・計画的な授業研究（「やまなしスタンダード」に基づく授業の充実）
○家庭学習の一層の推進

## 3

**集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築き，自己の生き方についての考えを深め，将来の生き方の基礎を培う生徒指導に努める。**

○適切な児童理解や心の居場所づくり
○しなやかな心の育成

## 4

**体育・スポーツ及び健康・安全に関する基礎・基本となる資質や能力の育成に努める。**

○進んで運動を実践する意欲・態度及び能力の育成
○生涯を通じて健康で安全な生活をおくるための実践力育成

## 5

**安全・安心を基盤とし，家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進に努める。**

○自己評価及び学校関係者評価の改善による学校評価の充実
○コミュニティースクール等の取組を参考にした保護者や地域との連携の充実

この５点を踏まえて，各学校では，具体的な計画をたて，実行していきます。
（裏面参照）

**山梨県教育委員会**

※この「指導重点保護者資料」はピーチウェアからダウンロードできます。